

<白金標準、フランス総選挙後の政治リスクに注意・・・>



(出所：オアシス)

欧州議会選を勝利し、世論調査でもマリーヌ・ルペン氏率いる極右政党・国民連合（RN）が第1党となるなど、フランスの政治リスクが強まりを見せていたが、ルペン氏が「RNが勝利してもマクロン大統領を追い出すつもりはない」と発言し「自分は制度を「尊重」している」と穏健派や市場の投資家へのアピールを行った事からリスクの巻き戻しを見せている。また南アフリカでは、ラマポサ大統領が再就任し、閣僚人事へ連立政党と協議に入るなど、南アフリカの政治リスクも後退しており、ランドは堅調な動きを見せている。そのため一時4779円まで下値を試した白金標準先物は、6月7日の戻り高値5073円を超えて5120円まで戻すなど、需給要因の供給不足をベースに政治リスクで下げた価格の巻き戻しを行っている。しかし来週は新甫6月限の発会以降、30日にはフランス総選挙の第1回目の投票が行われ、マクロン大統領率いる与党「再生」が7月7日の決選投票に進む事が出来ないと欧州委員会の財政規律を守る事が難しくなり、フランス債は売られて、ユーロ安の動きに白金標準先物も再度4900円を確かめる値動きに変化すると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが上昇し、シグナルの下げ止まりを超えている。またRCIでは短期が切り上げ、中期も上昇するなどオシレーターは強気の域に思え、安易な売り向かいを避けた方が無難と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 6 月 24 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 6 月 24 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>